

普及だより

第136号 平成31年3月
茨城県 鹿行農林事務所
行方地域農業改良普及センター
電話 0299(72)0256
FAX 0299(72)1690



平成30年度 行方地域儲かる農業推進フォーラム ～ 魅力ある農業経営をめざして ～

就農人口が減少する一方で、農業法人等による求人者数は増加傾向にあります。農業における労務管理は、季節や天候による制約を受けやすく、雇用契約や就業規則等に他産業とは異なる視点が求められます。

そこで、二月五日に、行方市のレイクエコーで、「魅力ある農業経営を目指して」と題し、農業における雇用をテーマに行方地域儲かる農業推進フォーラムを開催しました。当日は管内生産者や関係機関約一四〇名が参加しました。フォーラムでは、「農業経営における雇用対策について」株式会社オーレンスパートナーズの宮村氏より講演をいただきました。その後、株式会社ミエコズガーデン代表小松氏から「ハーブガーデンにおける人材育成について」事例報告を行いました。農業経営における人材雇用と労務管理に対する理解を深めると共に、経営戦略としての人材雇用を考える良い機会となりました。

行方地域農業後継者の育成

【農業学園】普及センターでは、毎年、新規就農者や就農間もない農業者を対象に農業学園を開催しています。



施設見学の様子

今年度も全八回の講座を開催し、第五回講座の「先端営農技術研修講座」では、井関農機株式会社「夢ある農業総合研究所」で、最新の農業機械を使用した営農技術に関する講習および施設等の見学を行いました。

参加者からは、「どんな栽培品目に対して自動定植が可能なのか」などの質問が寄せられ、最新営農技術に興味を持ってくれたようです。

次年度以降も農業学園を開催予定です。是非、お気軽にご参加ください。

【農業後継者クラブ】

平成三十二年一月一〇日に、農業学園第七回講座「プロジェクト活動発表会」が行われ、農業学園を通して結成された農業後継者クラブ二組のグループが発表しました。

今年度で解散となる女性農業者グループ「嫁ぐず☆」の箕輪氏は、家事や育児、農業経営で忙しい中での充実した九年間のグループ活動について報告しました。

また、「ミラクルTRICK」の新堀氏は、今年度初めて導入した加工用米品種「とよめき」の栽培試験について発表しました。この成果を平成三十二年一月二十九日に開催された「茨城県農業青年プロジェクト実績発表会」で発表し、優秀賞を受賞しました。



プロジェクト活動の様子
(調査区の収穫)

～中間管理事業を活用して農地集積を進めましょう～

平成三〇年度認定
茨城県農業経営士の紹介



浅野 国彦さん
(潮来市小泉)
浅野さんは、
潮来市の潮来地区で、施設野菜(コマツナ)を主体として水稲を組み合わせた複合経営を営んでいます。

平成三〇年度認定
茨城県青年農業者の紹介



埴 真人さん
(行方市次木)
埴さんは、

他産業を経験し、六年前に新規参入しました。行方市の次木地区で露地ネギと小ネギを中心とした経営を営み、近年注目されている香菜(パクチー)の生産も行っています。規模拡大、周年安定生産を目指すほか、所属している香菜部では栽培技術を構築するために試験栽培を積極的に取り組んでいます。

カンシヨ栽培における
畜ふん堆肥の施用効果

基幹品種の「ベニアズマ」は、連作障害等により品質が低下しています。そこで、畜ふん堆肥(豚ふん堆肥または牛ふん堆肥)施用による土づくが、品質を高める効果を検討しました。

畜ふん堆肥を施用することで、「ベニアズマ」の品質を向上させることが期待できます。ただし、施肥前の土壌診断を行い、土壌養分を把握することが大切です。特に、養分過多による生育障害(つるぼけ等)の発生に注意が必要です。また、未熟な堆肥は、病害虫発生の原因となるので、完熟した堆肥を使用しましょう。



自走式堆肥散布機による
散布作業

雑草イネにご注意を！

雑草イネは脱粒しやすい赤米で、出穂期が遅く草丈が長い等の特徴を持ちます。栽培種と同じ「イネ」なので、通常の除草剤での防除が難しく、発見が遅れて放置すると、等級落ちや減収など大きな被害をもたらします。



雑草イネの穂(右)
圃場での雑草イネ(左)

防除対策は、大きく分けて次の三つの方法があります。
①遅めの田植で発芽させた雑草イネをうけないこむ
②除草剤の三回体系処理
③手取り除草
詳しい内容は農研機構や植調協会のホームページを参照の他、雑草イネと思われるイネをみついたら普及センターまでご相談ください。

県主催のコンクール
受賞者紹介

☆農産加工品コンクール
緑と風の農園(行方市)の「トマト塩糍スパイシー」が金賞を受賞しました。また、「トマト塩糍」はアイデア賞・テイスト賞を受賞し、見事W受賞となりました。



トマト塩糍スパイシー(右)
トマト塩糍(左)

◎自給飼料コンクール
遠峰牧場(潮来市)が茨城県議会会議長賞を受賞しました。遠峰牧場は今年度から飼料生産体系を大きく変え品質向上を図ることに成功し、今回の受賞につながりました。

○飼料米コンテスト
(株)レイクフオー(行方市)が協同組合日本飼料工業会企画振興委員長賞を受賞しました。作付品種は「あきだわら」で反収は十一俵を上回りました。

茨城県農業参入等
支援センターを開設

支援センターは、農業経営や企業参入に関する総合的な相談窓口です。法人化や規模拡大等により、経営発展を目指す意欲のある農業経営者や第三者への経営継承を考えている経営者を対象として各種支援制度の紹介、専門家からなる支援チームの派遣等相談内容に応じた支援をおこなっています。詳しくはホームページをご確認ください。

クローリックリン
使用上の注意

土壌くん蒸剤「クローリックリン」は被覆が必要な農薬です。被覆をしないと、十分な効果が期待できないばかりか周辺の農作物や人、家畜類に被害を及ぼす恐れがあります。そのため、作業時は保護具を着用し、作業者と近隣地域へのガスによる被害防止のために必ず被覆を行ってください。特に人家や畜舎・鶏舎の近くでは被覆の他、気温・風向き・事前のお知らせなど、危害防止に十分配慮して下さい。